２０１５　ＩＢＫＯ　東北地区黒帯及び指導員合宿参加報告

平成２７年４月２８日
型技術部長　大塚剛志

平成２７年４月２５日から４月２６日一泊二日の行程で、まだ雪が残る国立　磐梯青少年交流の家にて上記表題の合宿に参加致しました。安斎最高師範、今井師範、茂木師範以下３８名の参加者で「型」について勉強させて頂きました。

初日は、午前　前半は征遠鎮を安斎正明師範指導の下、型の習熟し、後半に今井師範指導の下、征遠鎮　分解型を勉強しました。

至る所で残雪が散見されました。

今井師範指導の下

征遠鎮の分解型を行っていたのですが

途中から、合気道のように関節をとる護身術のような稽古になり

写真左の小山道場戸沢先生がモデルになり何回も投げられていました。

私でなかったので、安心して見学できました。

写真提供　礼心会　大橋先生

昼食を挟み午後の稽古は、観空及び五十四歩でした。

参加前には何とか観空まで辿り着いたのですが、五十四歩が手付かずで、できないチームに入り手取り足取りご教授願いました。

写真提供　礼心会　大橋先生

写真提供　礼心会　大橋先生

２５日の稽古が終わり、夕食を食べ入浴準備をしようと部屋に戻ると、鍵が掛かり入れず同室の大竹先生を待つこと１時間・・・・１９時開始予定の型審判講習会が遅れてしまいました。
皆様ご迷惑を掛けました。

写真提供　礼心会　大橋先生

私がパワポを使い、勉強会開始しました。内容は、坂本道場　冬合宿の物とほぼ同じ内容です。選手も居たので、全日本大会の審判方法を伝えようとしたのですが‥‥

写真提供　礼心会　大橋先生

写真左手だけが写っている、オレンジ色のＴシャツの先生が口火を切ると、怒濤の如く厳しい言葉が飛び交いトホホの状態に･･･

ここで挫けていられません、一歩前に出なくてはなりません。来年こそは、紛糾しないように対策を練ってから参加したいと思います。（クビになっていなければの話ですけど）

写真提供　礼心会　大橋先生

栃木の各先生にも参加頂きました。（あれ、戸沢先生は寝ていらしたんですね　笑）
勉強会の後は、気分一新で親睦会を行いました。

２６日（２日目）は朝食後に部屋を引き払った後に、予定を早めて体育館にて、昨日指導頂いた観空及び五十四歩のおさらいと安斎派の審判勉強会でした。（実地試験で各人が突きの型を披露）

安斎派の採点基準は、一人の審判が客観性５項目及び主観性５項目で審査します。

客観性には、１．正確さ、２．力の強弱及び気合い・気迫、３．身体の伸縮、転身、４．技の緩急、５．型の「流れ」と表現力です。
主観性は、１．正確さ、２力の強弱及び気合い・気迫、３．身体の伸縮、転身、４．技の緩急、５．技の「流れ」と表現力、って同じなんです。つまり、客観性と主観性の中項目は同じで、各項目で内容が違っています。
客観性の点数配分は各大項目３～６点で、主観は大項目だけの５点で合計最高で２５点となっています。

よくよく考えると、全日本基準と同じ内容までいかなくても、かなり似ています。
客観性は技術採点（減点）で超客観的に採点するし、主観は雄大さで超主観的に採点します。
ただ安斎派も、全日本基準も得点を決めるのが各審判なので、審判の技量に左右されることは間違いありません。
これからも勉強会を通し、益々のレベルアップを目指す所存です。

審判講習会が終わり、安斎派の昇段審査（１０人組み手）が行われ、坂本派からも田中本部長が相手を務められました。

写真提供　礼心会　大橋先生

昇段審査後に組み手参加者と記念撮影

写真提供　礼心会　大橋先生

１日目（２５日）参加者での記念撮影

写真提供　礼心会　大橋先生

全日程終了時の記念撮影

写真提供　小山道場　戸沢先生

後記

今回参加された先生方々お疲れ様でした。大変貴重な体験を共有できました。

Ｔ先生の仕事の関係で、急遽午後帰りになり、午後予定の十人組み手を早めてしまい、審査をされた道場生は大変でしたね。でも思い出になったでしょう。

最後の最後で負傷した大竹先生、早く治してくださいね。

坂本道場で記念写真を撮りました　　写真提供　小山道場　戸沢先生

他に田中本部長と礼心会の大橋先生も参加しました。お疲れ様でした。

来年こそは、坂本派に恥じないよう、頑張る所存です。

押忍